宮崎の農業のこれまでとこれから

はじまりは、台風被害を回避する営農への転換だった

昭和35～45　宮崎県防災営農計画（防災営農）
- 台風時期を避けた営農方式の導入・定着
- 早期水稲、施設園芸、畜産の導入

平成3～12　第4次農業振興長期計画（みやざきブランド）
- みやざきブラント確立と活力あるむらづくり
- 作ったものを売るから、売れるものを作る

令和3～12　第八次農業・農村振興長期計画（新防災とスマート化）
- あらゆる危機事象に負けない賢く稼げる農業
- 持続可能な魅力あるみやざき農業

持続可能な魅力あるみやざき農業のために

資料：第八次宮崎県農業・農村振興長期計画